



青森県感染症発生情報 (2017年第39週)

I 第39週の発生動向 (2017/9/25~2017/10/1)

1. 手足口病については、五所川原保健所管内で**警報**が**解除**されました。東地方+青森市保健所管内、弘前保健所管内、むつ保健所管内では**警報**が継続しています。
2. ヘルパンギーナについては、五所川原保健所管内で定点当たり報告数が前週より増加し、**警報**が継続しています。県全体の報告数の約7割を五所川原保健所管内からの報告が占めており、定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態が続いていますので注意が必要です。
3. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態が続いていますので注意が必要です。
4. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告はA型2人でした。

II 第39週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ															
									2	0.22			2	0.03	2	
小児科	RSウイルス感染症	8	1.00	8	0.89	6	0.60	10	2.00	5	0.83			37	0.88	-31
	咽頭結膜熱	2	0.25					1	0.20	1	0.17			4	0.10	0
	A群溶血性球菌咽頭炎	5	0.63	8	0.89	15	1.50	3	0.60	4	0.67	3	0.75	38	0.90	8
	感染性胃腸炎	21	2.63	7	0.78	22	2.20	14	2.80	1	0.17	16	4.00	81	1.93	3
	水痘			1	0.11	1	0.10			3	0.50	1	0.25	6	0.14	2
	手足口病	21	2.63	21	2.33	18	1.80	2	0.40	13	2.17	12	3.00	87	2.07	-20
	伝染性紅斑			1	0.11									1	0.02	1
	突発性発しん	2	0.25	1	0.11	14	1.40	1	0.20	4	0.67	2	0.50	24	0.57	9
	百日咳			1	0.11									1	0.02	1
	ヘルパンギーナ	2	0.25	2	0.22	1	0.10	18	3.60	1	0.17	1	0.25	25	0.60	-5
流行性耳下腺炎	2	0.25			14	1.40			5	0.83	3	0.75	24	0.57	-26	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	1	0.50											1	0.09	-3
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎							1	1.00					1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00	3	3.00			2	2.00	6	1.00	3
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

流行性耳下腺炎 (五類定点把握対象疾患) 第2回

流行性耳下腺炎は、ムンプスウイルスによる感染症で、両側又は片側の耳下腺(耳の下にある唾液腺)が腫脹することから、「おたふく風邪」とも呼ばれています。

感染力が強く、接触感染や飛まつ感染で伝播し、潜伏期間は2~3週間です。痛みを伴う柔らかい腫れが耳を中心として起こり、数日の発熱を伴います。

合併症としては、髄膜炎、脳炎、睇炎、難聴などがあり、その他、成人男性には睾丸炎、成人女性には卵巣炎がみられることがあります。片側だけの難聴は年少児には自覚しにくく、また周囲の大人も気がつきにくいいため発見が遅れがちですので、注意が必要です。

2017年の青森県の定点当たり報告数は、過去5年の平均と比較すると高い傾向にあります(図)。特に、三戸地方+八戸市保健所管内で定点当たり報告数が他の保健所管内より多い状態が続いています。

感染を効果的に予防するにはワクチンが唯一の方法です。流行性耳下腺炎の予防接種は任意接種ですので、費用は自己負担となりますが、助成制度を設けている市町村もありますので、お住いの市町村にお問い合わせください。また実際の接種に際しては、かかりつけ医にご相談ください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください [流行性耳下腺炎\(ムンプス、おたふくかぜ\) \(国立感染症研究所HP\)](#)

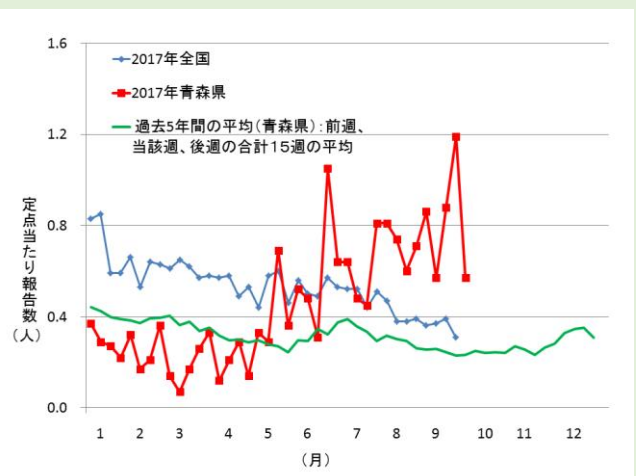


図: 流行性耳下腺炎 定点当たり報告数の推移 (青森県は2017年第1週~第39週、全国は2017年第1週~第38週)

Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前2人、八戸市1人、上十三1人、むつ2人
(2017年計:227人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：弘前1人、八戸市1人、上十三1人
(2017年計:28人)

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2017年第36週～2017年第39週)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
36	H29.9.4 ~ H29.9.10		梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 デング熱1人			
37	H29.9.11 ~ H29.9.17						
38	H29.9.18 ~ H29.9.24		腸管出血性大腸菌 感染症1人 破傷風1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 梅毒1人		梅毒1人	
39	H29.9.25 ~ H29.10.1		腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2017年第36週～2017年第39週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
36	H29.9.4 ~ H29.9.10			2			1
37	H29.9.11 ~ H29.9.17		4	1			
38	H29.9.18 ~ H29.9.24	2	5		1		2
39	H29.9.25 ~ H29.10.1	1	2	1		1	2

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第1週～2017年第38週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	16421	7	115	3093	27	12	238	215	20	10

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	5	1	3	73	2	3	112	187	236	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	3	44	18	1	1228	27	779	214	1174	516

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	9	149	407	1006	45	271	20	2378	218	4086

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	94	97	62	67	176	17

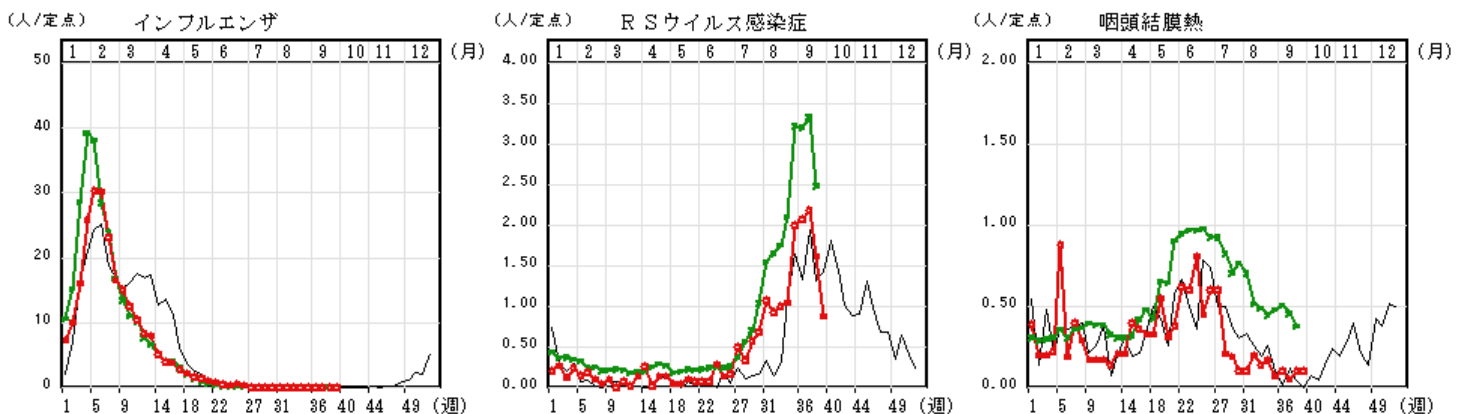
青森県（2017年第1週～2017年第39週までの累計）

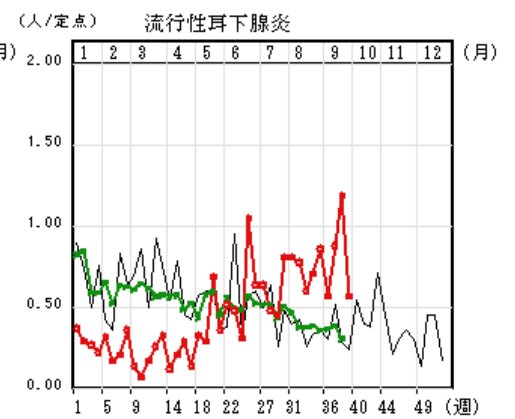
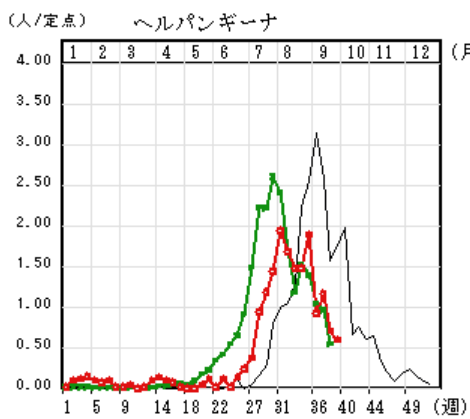
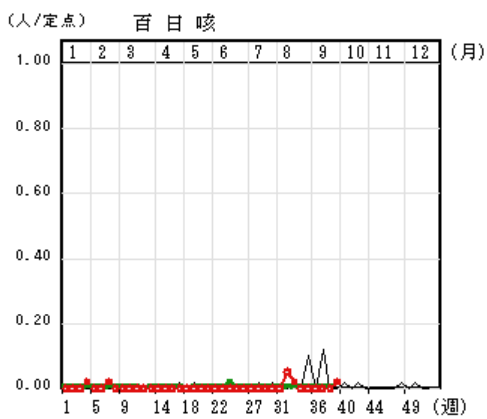
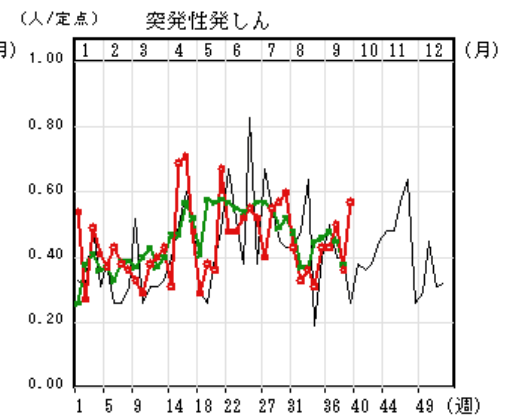
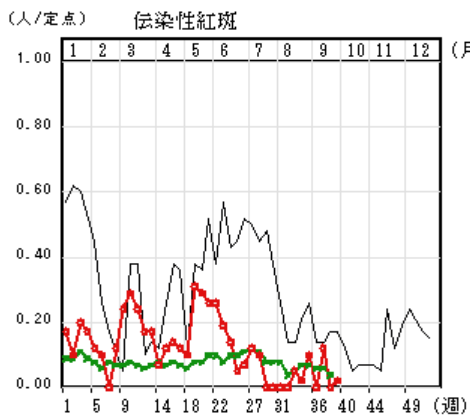
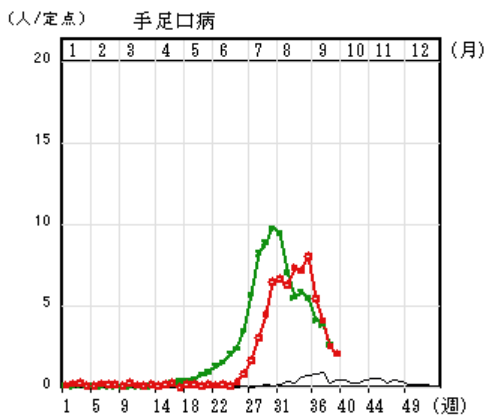
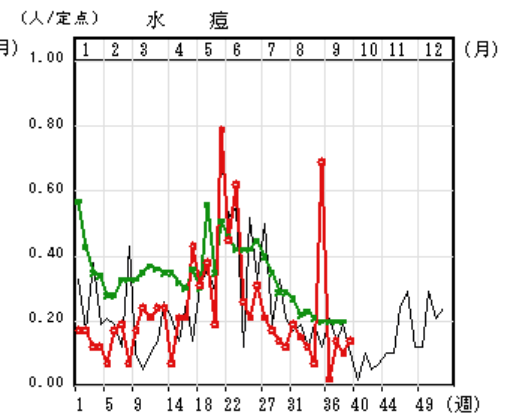
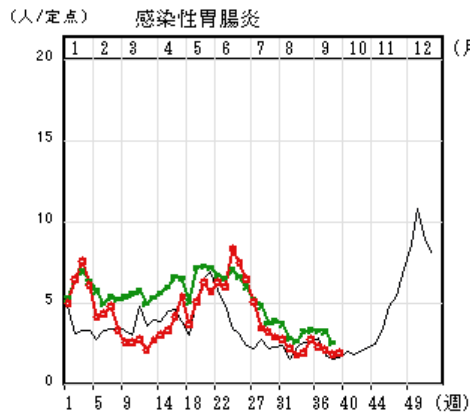
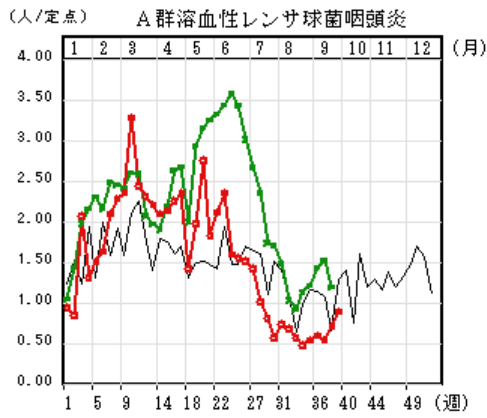
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	227	28	6	2	10	1	7	4	13	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風
累積報告数	2	5	1	8	1	54	1

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2017年第39週、ただし全国は前週）

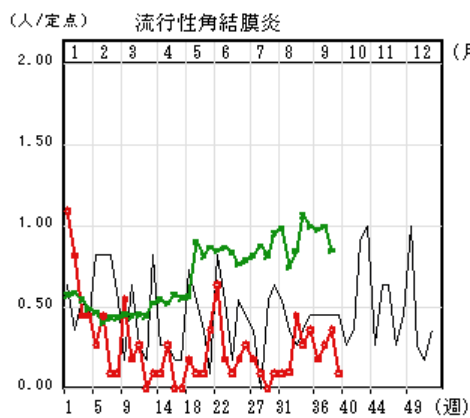
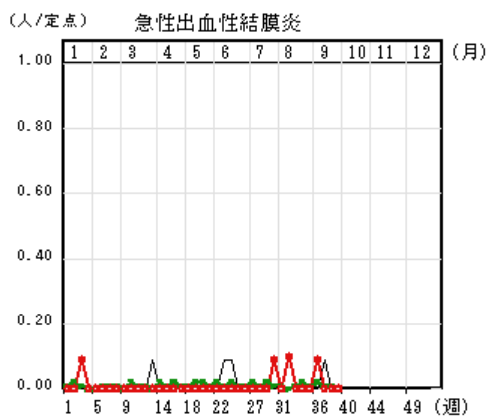
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





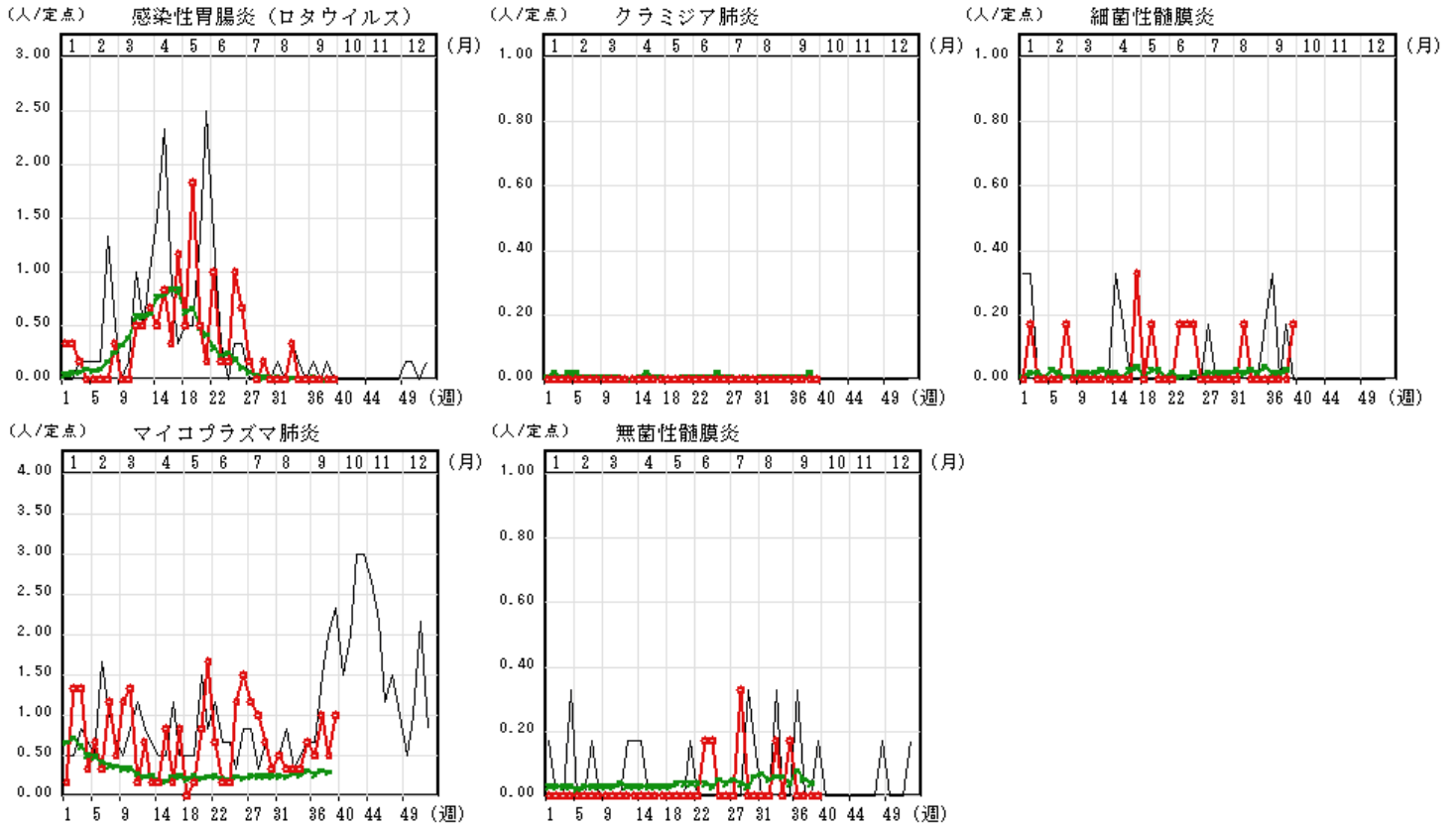
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2017年第39週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2017年第39週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第39週
報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	1	0	7
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	15	0	134
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	1	0	10
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	15	0	227